

III. 経営成績

1. 平成12年3月期の概況

(1) 損益

当期の連結経常収益は3兆29億円(12.1%増)、連結経常費用は2兆7,656億円(22.2%減)となりました。

その結果、連結経常利益は2,373億円、特別損益等を勘案した連結当期純利益は619億円となりました。

(2) 業容

預金は2,642億円増加して2兆8兆3,621億円となり、譲渡性預金は1兆583億円増加して6兆8,693億円となりました。

一方、貸出金は、海外店における資産圧縮及び円高等の影響により2兆6,489億円減少し、3兆2兆9,409億円となりました。

総資産は、2,559億円減少(貸倒引当金の表示変更影響を除く)し、5兆3兆7,675億円となりました。

(3) 純資産

純資産額は、当期472億円増加して、1兆8,044億円となりました。

(4) キャッシュ・フロー

資金の運用・調達や貸出金・預金の増減等の営業活動による収入が2兆6,301億円、有価証券の取得・売却や動産不動産の取得・売却等の投資活動による支出が2兆2,896億円、劣後特約付借入金・社債の増加・減少等の財務活動による収入が632億円となり、現金及び現金同等物の期末残高は、1兆3,232億円となりました。

(5) セグメント

事業の種類別では、銀行業、リース業、その他事業の内部取引消去前の経常収益シェアが、各々71%、17%、12%となりました。また、所在地別の内部取引消去前の経常収益シェアは、日本が76%、米州、欧州、アジア・オセアニアは、各々11%、6%、7%となりました。

(6) 自己資本比率(国際統一基準)(速報値)

連結自己資本比率が11.60%、単体自己資本比率が12.46%となりました。

2. 平成13年3月期の見通し

平成13年3月期につきましては、内外にわたる資金の効率的運用・調達、経営全般の合理化の推進等により、収益力の強化を図る一方、不良債権問題の完全決着に向けて、引き続き注力してまいります。

業績の見通しといたしましては、連結経常収益2兆4,000億円(中間期1兆2,000億円)、連結経常利益2,900億円(同1,400億円)、連結当期純利益1,050億円(同500億円)を予想しております。

また、住友銀行単体の業績の見通しといたしましては、経常収益1兆8,000億円(中間期9,000億円)、経常利益2,400億円(同1,200億円)、当期純利益1,000億円(同500億円)を予想しております。

住友銀行の普通株式の期末配当につきましては、中間配当と同じく1株当たり3円(年間配当金6円)として株主総会に付議する予定であります。なお、優先株式については所定の配当(第1回優先株式は年10円50銭、第2回優先株式は年28円50銭)を予定しております。